



ゴルフのマスターズでタイガーウッズが優勝をしましたね。自身14年ぶりのメジャー優勝。同年代としては嬉しい限りです。個人的には平成最後のビックニュースとなりました。長いスランプを乗り超えて見事に復活を遂げた背景には、息子に自らの優勝した姿を見せたいとの思いがあったとありました。強い思いと努力があれば叶うんですね。

当院でも入院患者さんの復活、在宅復帰をサポートするために、栄養管理やリハビリテーションを行っています。しかし、すべての患者が自宅に復帰できるわけではなく、老人保健施設や特別養護老人ホームに入所する方、介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、グループホームなどに退院される方もたくさんいらっしゃいます。



それぞれの施設に違いがあるため、一度まとめておこうと思います。

入院中の患者が退院後の療養施設にどのような選択肢があるのか説明、サポートすることはとても大切。
桑の実は老健、**マルベリー**はグループホームと在宅型有料老人ホームを併せ持つ施設になります。

施設の種類		受け入れられる介護度	認知症の受け入れ※1	看取り※2	入居待ちの期間	初期費用(円)	月額(円)
介護付有料老人ホーム	民間型	自立～要介護5	○	△	短い	0～数千万	15～35万
住宅型有料老人ホーム		自立～要介護5	△	△	短い	0～数億	15～35万
グループホーム		要支援2～要介護5	○	×	長い場合も	0～数十万	15～30万
特別養護老人ホーム(特養)	公共型	要介護3～要介護5	○	△	長い	0	6～15万
介護老人保健施設(老健)		要介護1～要介護5	○	△	長い場合も	0	9～12万
介護療養型医療施設		要介護1～要介護5	○	○	長い場合も	0	9～12万
サービス付き高齢者向け住宅	民間型	自立～要介護3程度	△	×	短い	0～数十万	10～30万
ケアハウス(軽費老人ホーム)	公共型	自立～要介護3程度	△	×	長い	数十万～数百万	15～30万

※1 [認知症の受け入れ]軽度までなら可能な場合を、△としています。

※2 [看取り]施設により可能な場合を、△としています。



(案)



退院前のカンファレンスを行うことで、退院に向けた流れがスムーズになります。患者の状態が安定したら、在宅に向けてのカンファレンスを早めに行いましょう。必要なメンバーを集めることで、退院共同指導料も算定できます。カンファレンスを行うにあたり案となるシートも作成しました。

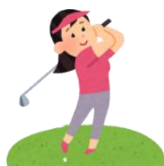
退院・退所加算カンファレンスのメンバー要件

病院チーム(1名)
医師または
看護師等

在宅チーム(3名)
・医師 看護師等
・歯科医師 歯科衛生士
・薬剤師



・訪問看護ステーションの看護師等(准看護師を除く。) 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
・介護支援専門員 相談支援専門員



カンファレンス		実施日	
フリガナ	患者氏名	年齢	性別
			男 女
病名			
参加者			
患者以外の相談者			
要介護認定			まで
患者・家族の希望	患者		
退院支援が必要な要因	家族		
退院に際しての課題など	<input type="checkbox"/> 入院前に比べ活動の低下 <input type="checkbox"/> 介護について <input type="checkbox"/> 身内に介護できる人がいない <input type="checkbox"/> 医療施設について <input type="checkbox"/> 退院費について <input type="checkbox"/> 家族後、医療転送が必要 <input type="checkbox"/> 入退院を繰り返している <input type="checkbox"/> その他		
退院に向けた目標設定	<退院支援の目標> <input type="checkbox"/> 退院後の療養先の選定 <input type="checkbox"/> 在宅医療・ケアの整備 <input type="checkbox"/> その他 <支援期間>		
予想される退院先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 特養 <input type="checkbox"/> 有料老人ホーム		
事業所及ケアマネジャー			